

## 基礎演習 3

責任者・コーディネーター	地域医療薬学分野 松浦 誠 特任教授		
担当講座・学科(分野)	創薬有機化学分野、地域医療薬学分野、生体防御学分野、臨床医化学分野、情報薬科学分野、臨床薬剤学分野、薬物代謝動態学分野		
対象学年	3	区分・時間数	講義 16.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

3 学年後期では、医療系科目が多く、その内容理解にはこれまで履修してきた科目との連携を強く意識する必要がある。本講義では、特に、3 学年前期科目で履修した科目の要点整理をおこない、関連科目の実践的な知識基盤の強化を図る。

・教育成果（アウトカム）

物理、化学、生物、薬理学、薬物治療学、創剤学、薬物動態学および衛生化学の学修を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することで、基本的知識の確固たる基盤を形成することができる。また、そうして得た知識基盤を3 学年後期配当科目の理解に生かすことで、科目間連携を意識できるようになるとともに、関連科目の内容も理解し、説明できるようになる。  
(ディプロマ・ポリシー：2,3,4,5,6,7,8)

・到達目標（SBO）

基礎薬学分野 : 物理、化学、生物系の薬学専門関連科目の SBOs  
 医療薬学分野 : 薬理、治療学、医療薬学、薬物動態系の薬学専門科目の SBOs  
 衛生薬学分野 : 衛生系の薬学専門科目の SBOs

・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/13	水	3	創薬有機化学分野	辻原 哲也 准教授	3 年前期に開講された「有機薬化学 3」の範囲についての復習と問題演習 1. 「有機薬化学 3」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。 【ICT (Google Forms, Moodle)】 事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。

9/20	水	3	臨床薬剤学分野	高橋 宏彰 助教	<p>3年前期に開講された「医療薬学2」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「医療薬学2」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
10/4	水	4	臨床薬剤学分野	高橋 宏彰 助教	<p>3年前期に開講された「医療薬学2」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「医療薬学2」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
10/18	水	4	薬物代謝動態学分野	幅野 涉 教授	<p>3年前期に開講された「薬物動態解析1」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「薬物動態解析1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
10/25	水	3	薬物代謝動態学分野	幅野 涉 教授	<p>3年前期に開講された「薬物動態解析1」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「薬物動態解析1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/1	水	3	臨床医化学分野	大橋 一晶 准教授	<p>3年前期に開講された「医療薬学1」の範囲についての復習と問題演習</p>

					<p>1. 「医療薬学1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/15	水	4	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	<p>3年前期に開講された「放射化学」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「放射化学」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/22	水	4	生体防御学分野	錦織 健児 助教	<p>3年前期に開講された「免疫生物学2」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「免疫生物学2」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
11/29	水	3	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	<p>3年前期に開講された「物理化学3」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「物理化学3」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
12/6	水	3	情報薬科学分野	氏家 悠貴 助教	<p>3年前期に開講された「感染症学」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「感染症学」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p>

					<p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>
12/13	水	4	臨床薬剤学分野	朝賀 純一 准教授	<p>3年前期に開講された「保健衛生学」の範囲についての復習と問題演習</p> <p>1. 「保健衛生学」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。</p> <p>【ICT (Google Forms, Moodle)】</p> <p>事前学修：関連講義の内容について確認しておくこと。</p> <p>事後学修：講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。</p>

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	3年前期に使用した教科書			

・成績評価方法

各講義で実施される確認テスト（85%）とレポート（15%）で評価する。  
 なお、各講義で実施される確認テストの総合平均が70点（100点満点換算）を超えた者にのみレポートの点数を加算して評価する。定期試験は実施しないが、再試験は再試験期間中に実施する。

・特記事項・その他

授業に対する予習には最低30分を要する。さらに、復習には1時間程度を要する。詳細な予習・復習の方法を初回講義時に説明する。講義後にフィードバックとしてMoodleに概況等を掲載する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	iPad Air (Apple ME906J/A)	1	講義資料の閲覧